

救命救急病棟の紹介

救命救急病棟は、救命救急センター（ER）の後方病棟で、ERからの救急患者の受け入れを行っており、昼夜問わず多くの患者さんが入室してきます。病床数は18床で4：1の看護体制です。

様々な診療科の患者さんが入室するため、幅広い知識とフィジカルアセスメント能力を必要とします。

また、入院時から患者さんの退院後の生活を見据えた看護の提供ができるように、看護カンファレンスなどに力を入れています。

必要時には、相互に応援体制がとれるようにERと集中病棟で連携を図っています。



毎日、多職種で入院時カンファレンス・多職種カンファレンスを行っています。



各病棟に担当のコメディカルが配属されておりいつでも相談ができます。

看護師がペアで患者さんを担当することで、ベッドサイドでの看護ケアの時間を多くとれるようにしています。また、困った時にはすぐに相談ができ、その場で指導をすることもできます。患者情報の共有もタイムリーにでき、患者さん個々に合った看護の提供ができるように毎日頑張っています。